

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	152-01-01		
事務事業名		水道料金徴収事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		水道局総務課		連絡先	内線5020	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	水道事業会計
	施策	5	上下水道		款	事業費用
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		項	営業費用
					目	業務費
対象(誰を・何を)		上水道利用者				
目的(どうしたいか)		水道事業の経営安定化のための適正な水道料金の算定及び収納				
手段(事業内容)		水道メーターの検針から料金徴収までの事務委託				

## 事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		87,834	95,406
人件費		5,463	5,184
総事業費		93,297	100,590
うち市負担分		36,715	35,633

28年度決算主な内訳
【事業費】水道料金等関連業務委託料68,558千円、水道料金等管理システム電算機器賃借料6,958千円、水道料金等管理システム保守委託料1,628千円、コンビニ収納・口座振替手数料4,961千円、納入通知書等送付料3,936千円
【雑収益】下水道使用料徴収事務費56,582千円

## 活動指標

指標名	調定額(千円)		
指標の説明	水道使用料調定額		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		2,017,125	1,965,517

参考数値	
H28給水人口	110,562人
H28給水戸数	42,686戸
H28総有収水量	11,711,721m <sup>3</sup>

## 成果指標

指標名	最終収納率(%)		
指標の説明	収納額/調定額×100		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		98.97	100.00

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 人口減少や節水意識の高まりから水需要が減少傾向にある中、水道事業収益の大部分は水道料金であるため、本業務は経営安定化のためにも根幹をなすものであり今後も民間活力で継続すべきものと考えられる。 本業務における収納率は高い水準であるといえるが、今後も負担の公平性を欠くことのないよう、未納者対策の充実を図り、更なる収納率の向上を目指す必要がある。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	152-01-02		
事務事業名		水道メーター管理事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		水道局総務課		連絡先	内線5020	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	水道事業会計
	施策	5	上下水道		款	事業費用
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		項	営業費用
					目	業務費
対象(誰を・何を)		水道メーター(量水器)				
目的(どうしたいか)		適正な料金算定のために必要な水道メーター(量水器)の管理				
手段(事業内容)		計量法の検定期間満了に伴うメーター(量水器)取替・新設個数の把握、入・出庫管理				

## 事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		18,375	31,533
人件費		2,584	2,444
総事業費		20,959	33,977
うち市負担分		20,959	33,977

28年度決算主な内訳
【事業費】 量水器取替費17,493千円 量水器購入費882千円

## 活動指標

指標名	水道メーター(量水器)取替・新設個数(個)		
指標の説明	検定期間満了に伴う取替個数+新設個数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		6,912	7,097

参考数値
H28設置メーター個数 42,686個

## 成果指標

指標名	検定期間満了に伴う取替率(%)		
指標の説明	検定期間満了メーター取替数/検定期間満了メーター数×100		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		99.92	100.00

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 本市では、水道メーター(量水器)の計量法検定期間満了超過防止等を目的に期間満了1年前に取替を行っているため、適正な執行・管理状況であると考え。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

		コード	152-02-01		
事務事業名		人事管理事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)
担当部署名		水道局総務課		連絡先	内線5020
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち		
	施策	5	上下水道		
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		
	予算科目	会計	水道事業会計		
			款	事業費用	
			項	営業費用	
			目	総係費	
対象(誰を・何を)		水道局在籍・過去在籍職員(正職員・再任用職員・非常勤職員・嘱託員含む)			
目的(どうしたいか)		適正な労務管理			
手段(事業内容)		給与・人事関連の管理、安全衛生委員会の運営			

## 事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		0	0
人件費		3,986	3,407
総事業費		3,986	3,407
うち市負担分		3,986	3,407

28年度決算主な内訳

## 活動指標

指標名	給料処理件数(件)		
指標の説明	年間給料処理件数(正職員+再任用職員+非常勤職員+嘱託員)		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		503	517

参考数値
H28職員数 34人 (正職26人・再任用5人・非常勤2人・嘱託1人)

## 成果指標

指標名	適正処理率(%)		
指標の説明	人事管理事務において適正に処理した率		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		100.00	100.00

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 公平・公正・中立性が確保された適正な事務の執行・管理状況であると考えられるが、市長部局で一元化(委託)できないか検討の余地もあると考える。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

		コード	152-02-02			
事務事業名		入札・契約事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		水道局総務課		連絡先	内線5020	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	水道事業会計
	施策	5	上下水道		款	事業費用
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		項	営業費用
					目	総係費
対象(誰を・何を)		入札・契約事務				
目的(どうしたいか)		公平・公正な入札、適正な契約事務の執行				
手段(事業内容)		工事請負、測量・設計コンサルタントをはじめとする業務委託、物品等の購入に係る入札・契約事務				

## 事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		21,163	21,586
人件費		5,906	5,925
総事業費		27,069	27,511
うち市負担分		27,069	27,511

28年度決算主な内訳
【事業費】 契約工事検査事務負担金20,150千円、電子入札システム負担金987千円

## 活動指標

指標名	水道局で行った入札件数(件)		
指標の説明	水道局で行った入札件数(見積徴収含む)		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		129	129

参考数値
H28 電子入札件数 35件 契約件数で単価契約の場合は1件でカウント

## 成果指標

指標名	契約件数(件)		
指標の説明	1年間で行った契約件数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		161	161

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 公平・公正性が確保された事務の執行状況であると考えられるが、市長部局で一元化(委託)できないか検討の余地もあると考える。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

			コード	152-02-03		
事務事業名		出納・会計事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		水道局総務課		連絡先	内線5012	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	水道事業会計
	施策	5	上下水道		款	事業費用
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		項	営業費用
					目	総係費
対象(誰を・何を)		水道事業会計				
目的(どうしたいか)		水道事業に係る全ての収入・支出を適切に処理し、実態に則した会計帳簿を作成することを目的とする。				
手段(事業内容)		水道事業として行う全ての経済活動に対応する伝票を正しく作成・起票する。また、年度末に地方公営企業法・羽曳野市水道事業会計規程に準拠して実態に即した財務諸表を作成する。				

## 事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		1,823	1,823
人件費		19,562	18,145
総事業費		21,385	19,968
うち市負担分		21,385	19,968

28年度決算主な内訳
会計システムリース料 1,238,580円
会計システムアプリケーション 保守委託料 584,364円

## 活動指標

指標名	出納件数(件)		
指標の説明	入金件数と出金件数の合計件数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		4,179	4,000

参考数値

## 成果指標

指標名	適正処理率(%)		
指標の説明	出納事務において適正に処理した率		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		100.00	100.00

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<b>担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容</b> 出納事務は、間違ふことが許されないとこである。今後も引き続き処理誤りの無いように注意し、経営判断を適切に行うためにも実態に則した財務諸表を作成する。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

		コード	152-02-04			
事務事業名		広報事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		水道局総務課		連絡先	内線5020	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	水道事業会計
	施策	5	上下水道		款	事業費用
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		項	営業費用
					目	総係費
対象(誰を・何を)		市民・市内事業所・上水道利用者				
目的(どうしたいか)		水需要が伸び悩む中、常に安全・安心・低廉な水を供給していること等をPRすることにより、水道事業への理解を深めていただき、より多くの水道水を利用していただく。				
手段(事業内容)		広報紙やホームページへの記事の掲載。本市浄水場で浄水した水を使用したボトルドウォーターのイベント等での配布、浄水場見学会の開催等。				

## 事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		1,857	3,202
人件費		1,107	815
総事業費		2,964	4,017
うち市負担分		2,964	4,017

28年度決算主な内訳
【事業費】 広告料1,771千円(ボトルドウォーター生産委託料・見学会用パンフレット・同定規セット)

## 活動指標

指標名	市民等への周知回数(回)		
指標の説明	市広報紙掲載回数+水道局ホームページ更新回数+見学会等イベント開催回数+ボトルドウォーター配布回数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		123	123

参考数値
H28 ボトルドウォーター生産本数 12,000本(500ml) 見学会回数・参加人数 15回・975人

## 成果指標

指標名	広報内容種別数(種)		
指標の説明	市民等へ周知した広報内容種別数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		32	32

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<b>担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容</b> 広報紙の記事掲載やホームページの開設等一定の成果は見受けられるものの、今後は将来的な水道料金の改定も見据え、利用者アンケートの実施や、水道事業の経営状況等を積極的に広報紙やホームページへ掲載するなどの改善が必要と考える。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

		コード	152-03-01			
事務事業名		整備計画管理事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		水道局総務課		連絡先	内線5012	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	水道事業会計
	施策	5	上下水道		款	事業費用
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		項	営業費用
					目	総係費
対象(誰を・何を)		水道施設・管路の整備事業				
目的(どうしたいか)		水道施設・管路の健全性を維持しつつ着実に耐震化事業等を進めることを目的とする。				
手段(事業内容)		水道施設・管路と水道事業を取り巻く外部環境の現状と将来見通しをもって整備計画を策定(改定)する。また、施設・管路の健全性を把握する指標や耐震化率をもとに整備状況を分析し、計画に沿った整備事業を実施できるよう局内調整を図る。				

## 事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		13,880	0
人件費		4,798	4,073
総事業費		18,678	4,073
うち市負担分		18,678	4,073

28年度決算主な内訳
整備事業改定業務委託 18,252千円(内、整備 計画分13,880千円)

## 活動指標

指標名	事務日数(日)		
指標の説明	整備計画の管理に携わった日数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
			14

参考数値
成果指標 内訳 H28:整備計画の改定の実施(100%) H29:進捗管理手法確立(30%) 整備の進捗把握(30%) 進捗の分析(30%) 局内調整(10%) H30:整備の進捗把握(40%) 進捗の分析(40%) 局内調整(20%)

## 成果指標

指標名	管理事務達成率(%)		
指標の説明	毎年度の管理事務の達成率		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
			100.00

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

## 総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止
<b>担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容</b> 平成25年3月、厚生労働省は新水道ビジョンを策定した。将来の人口減少を原因とした減収傾向への対処として経営基盤を強化すべきこと、頻発する大震災への備えとして施設・管路の耐震化を着実に実施すべきことがうたわれている。本市はこれを受け、平成19年度に策定した水道事業ビジョン及び整備基本計画を改定し、現時点における将来の人口予測や施設・管路の実情を再確認し、人口減少傾向、ダウンサイジング、重要施設・管路の耐震化の重点化などを盛り込んだ。 今回の計画改定は国の新水道ビジョンを十分に反映したものであり、本事務事業の目的達成に資するものとする。今後はこの計画を着実に実施するため、毎年計画された事業の達成率を把握・分析し進行管理していくこととする。

# 平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

		コード	152-03-02			
事務事業名		財政計画管理事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		水道局総務課		連絡先	内線5012	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	水道事業会計
	施策	5	上下水道		款	事業費用
	施策の方向	2	水道事業の経営基盤の強化		項	営業費用
					目	総係費
対象(誰を・何を)		水道事業経営				
目的(どうしたいか)		健全かつ安定的な事業経営を持続的に行うことを目的とする。				
手段(事業内容)		整備事業費や起債額など収入・支出を詳細に検討して財政計画を策定(改定)する。また、各種指標を用いて経営状況を分析し、計画に沿った経営を行うよう局内調整を図る。				

## 事業費

単位:千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		4,372	0
人件費		4,429	6,665
総事業費		8,801	6,665
うち市負担分		8,801	6,665

28年度決算主な内訳
整備事業改定業務委託 18,252千円(内、財政 計画分4,372千円)

## 活動指標

指標名	事務日数(日)		
指標の説明	財政計画の管理に携わった日数		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		6	20

参考数値
成果指標 内訳
H28: 財政計画の改定の実施(100%)
H29: 経営分析手法確立(50%) 経営状況の分析(30%) 局内調整(20%)
H30: 経営状況の分析(70%) ~ 局内調整(30%)

## 成果指標

指標名	管理事務達成率(%)		
指標の説明	毎年度の管理事務の達成率		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		100.00	100.00

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	A
	人件費削減の余地はあるか。	人件費は適正である。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<b>担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容</b> 平成25年3月に厚生労働省が策定した新水道ビジョンによって水道事業の経営基盤の強化がうたわれた。また平成26年8月には総務省が公営企業に対して経営戦略を策定することが求められた。 これを受けて本市においても、平成28年度に水道事業ビジョンを改定し、水道事業経営戦略を策定した。これは経営に大きな影響を与える整備計画を改定したためであり、改定に当たっては具体的かつ詳細な将来見通しを検討している。これにより健全経営の道筋をつけることができたこととする。 今後はこの計画を着実に実施していくこととする。